

コミセンだより

たき

令和7年 (2025) 7月4日発行

No.116

多伎地域の人口及び世帯数(5月末現在)

世帯数	1,308世帯	△ 3	前年同月比	△ 4
人口	3,073人	△ 6		△ 45
男	1,483人	± 0		△ 22
女	1,590人	△ 6		△ 23



総括目標

出あい ふれあい 心豊かで活力あるまちづくり

多伎コミュニティセンター

〒699-0903 出雲市多伎町小田73

TEL (0853) 86-2853 FAX (0853) 86-2854

E-mail: taki-cc@local.city.izumo.shimane.jp

HP公開中 多伎コミュニティセンター

検索

木村 悦子さん(多伎地区)

スポーツ特別賞を受賞されました!

3月に開催された出雲州市制施行20周年記念式典で特別功労表彰を受賞された木村悦子さんですが、5月22日の出雲市スポーツ協会総会でもスポーツ特別賞を受賞されました。

木村さんは、令和6年に開催された、日本マスターズ水泳短水路大会において平泳ぎ三種目95~99歳の部において、世界新記録を達成されました。

このことは、多伎地域の誇りであると共に、出雲市のスポーツ振興に大きく寄与するものです。



受賞おめでとうございます!



5/16(金)

令和7年度コミセン大学 第1回講座

第1回講座は、現役やOBの保健師さんで活動されている「ぼたん座」の皆さんの寸劇公演でした。

今回は、高齢夫婦の妻に最近物忘れが出てきてどのように対応したらよいか…という内容でした。

出雲弁での会話は分かりやすく楽しく見ることができました。

《いきいき健康福祉部事業》



コミセン事業を開催しました

6/14(土) まちづくり講演会 《まちづくり部》

●日時：6月14日(土) ●会場：多伎コミュニティセンター 大ホール

●講師：元出雲市地域おこし協力隊員 堀江 拓 さん

「何事にも全力挑戦！いちじくを通じた多伎町のファンづくり」のタイトルでの講演でした。堀江さんの趣味のラリーの映像など見ながらお話いただき、地域おこし協力隊員になった経緯やいちじく栽培をはじめられたことを詳しく聞きました。多伎いちじくの未来や課題についても熱く話され、いちじく農家の担い手として後継者の育成や高齢農家さんとの橋渡し役など…堀江さんの今後の活躍に期待しています！



6/9(月) コミセン大学第2回講座 「笑いヨガ」

《いきいき健康福祉部》



笑いヨガティーチャーの吾郷さん、青木さんを迎えての初講座。からだが硬くても笑えなくても大丈夫。誰にでもできる笑いの健康体操という事で50名近くの参加がありました。みなさん声を出しながらライオンの顔や操り人形の動きなど童心に返ったように楽しんでおられました。しっかり汗もかきました。

6/3(火) いきいき体験講座 「ゴキブリ退治のホウ酸団子づくり」 《生活部》

これからの季節に見かけるゴキブリ退治には地域一斉の駆除が大切と、今年もゴキブリ退治のお団子づくりを実施しました。



5/24(土) 奥出雲三沢方面視察研修

《生活部》

10数年以上前に空き家になった住宅の大黒柱を残しながらリフォームした建物に、地域住民の有志でつくる「トンボの会」が町の指定管理を受け、「要害山交流拠点施設」として現在の場所に三沢の館を開館されました。女性10名程度がトンボの会の「おもてなし部」として食事作りを担われています。トンボの会は「三沢城跡保存会」と一緒に周辺環境の整備や、地域外から訪れるお客様に三沢城跡登山や食事でのおもてなしで対応されています。



5/31(土) らいふあつぷ講座 春の寄せ植え体験

《文化部》



毎年人気の寄せ植え体験！今回は涼し気なシダを使って寄せ植えを作りました。

室内のインテリアとして、お洒落な寄せ植えが出来上がりました。

健康づくり推進員の活動紹介

多伎地域では3名の健康づくり推進員が活動しており、毎年話し合って活動目標を決めています。令和7年度の活動目標は以下のとおりです。

- ①がん検診のPRと受診の呼びかけをしよう
- ②運動習慣のきっかけづくりや情報提供をしよう
- ③食生活を見直して、減塩に取り組むよう呼びかけよう
- ④こころの健康に関心をもちましょう

様々な場で、健康づくりに関する情報提供をし、皆さんの健康づくりの後押しをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



文化祭
健康コーナーでの活動の様子

6/22(日)

多伎地域一斉防災訓練を実施しました

6月22日(日) 8時から防災行政無線放送をはじめに、多伎地域一斉防災訓練を実施しました。今回は、避難所開設時に使う段ボールベッドや間仕切りの組み立ても実際に体験することが出来ました。



また、多伎地区災害対策委員会のグループラインを使った情報伝達訓練および、町内を巡回した消防団多伎方面隊との被害現場写真の共有や、出雲市の災害情報管理システムで災害状況の確認も行いました。普段から、自分が住んでいる場所がどのような場所にあるのかなど、防災ハザードマップでご確認ください。



段ボールベッド
組み立て中

